

## ZEHとは、Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略語。

住まいの断熱性能・省エネルギー性能を高性能化し、太陽光発電による電力エネルギーを作ります。  
それにより、年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支を「ゼロ以下」にする住宅をつくります。

### ZEH 目標公表資料

ピースホームではZEH普及計画を以下のように定め、  
2025年までにZEH普及率を70%とします。

(2023年度 ZEH基準の水準の省エネルギー性能を確保した新築住宅実績棟数0棟)

#### 既存改修の実績と目標

2020年度(令和2年)	0%実績
2021年度(令和3年)	0%実績
2022年度(令和4年)	0%実績
2023年度(令和5年)	0%実績
2025年度(令和7年)	50%目標

#### 新築の実績と目標

2020年度(令和2年)	0%実績
2021年度(令和3年)	0%実績
2022年度(令和4年)	0%実績
2023年度(令和5年)	0%実績
2025年度(令和7年)	70%目標

### 【ZEHの周知・普及に向けた具体策】

自社ホームページへの掲載  
完成見学会の告知  
チラシの配布  
住宅営業、工事担当者向けのZEH研修  
ZEHに関する説明に必要なお客様向けの営業ツールの作成  
ZEH住宅を商品化し、仕様、金額を明確にする  
ZEH仕様のモデルプランの作成  
メーカーなどをまとめて発注し、コストダウンに努める  
性能と工法、設備の組み合わせを検討し、コストダウンに努める  
プランニングを敷地条件に合わせて工夫し、パッシブ設計を取り入れることで効率化を図る

### 【ZEHのコストダウンに向けた具体策】

建物の断熱性能を高めるために、敷地や方位、採光などを考慮して、サッシやガラスの配置、断熱材の仕様を検討する  
効率の良い太陽光発電を提案する  
業者会で周知徹底し、施工ミスなどを削減する  
外皮性能や省エネ削減能力が高く安価な資材、建材、設備機器を調査、採用する  
太陽光の発電効率がよく設備工事が難易にならない屋根形状、配置計画とすることで工事費削減を目指す  
プランニングを敷地条件に合わせて工夫し、パッシブ設計を取り入れる  
ZEH仕様を標準化し、協力業者と連携してコストダウンを目指す  
住宅設備のメーカーをなるべく統一し商品の年間使用数を決める等まとめて仕入れることでコスト低減に努める  
断熱仕様や搭載太陽光容量とのバランスを考え、ゼロ・エネルギー・ハウス全体のコストダウンも図る  
サッシや断熱材等の建材の見直し、各種建材メーカーや協力業者との連携によるコストダウンを図る  
ZEH住宅の標準仕様確立に取り組み、生産性の向上を図る率化を図る

### 【その他の取り組み】

建物の断熱性を高め、エアコンの使用量を減らす  
適切なサッシやガラスの配置、断熱材の仕様を検討し、ランニングコストや光熱費を削減する  
自社ホームページへの掲載、ショールームや見学会への参加  
ポスティングチラシや折り込み広告などの周知活動